



ビジュアルを活用した医療情報伝達

健康開発学科 健康行動科学専攻

原本 万紀子 准教授

【研究分野】 医療コミュニケーション、情報リテラシー
 【キーワード】 メディカルイラストレーション、インフォグラフィック
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=300hara>



研究概要

複雑な医療情報を齟齬なく伝達するため、文字に加えて、情報の興味関心の喚起・理解促進・知識持続に効果的なイラストレーションの研究を、科学的に実施しています。

イラストと一口にいっても、様々な描き方や情報の切り取り方があり、それらをパターン化することで、伝えたい情報と伝えたい相手に対して、どのような情報作りが適しているのかを、探っていきます。

研究紹介

■がん情報の提供を想定した適切なイラストレーションの模索

国立がん研究センターと共同で、がんセンターが保有する患者さん向けがん情報資料を活用し、それに付随するイラストとしてどのような描写、どのような描き方が出来ているのかを、がん経験者・未経験者それぞれに、性別や年齢、普段の情報収集の仕方等、様々な因子で被験者を分類し、科学的にイラストの効果について探りました。

■裁判員の心理的負担軽減に向けた裁判員裁判で用いる御遺体写真のイラスト化の検討

裁判員裁判は刑事事件に市民が参加をする制度ですが、参加を行う際に凄惨な証拠写真を閲覧する機会もあり、心理的負担を訴える人も少なくありません。そのような状況を減少すべく、情報として適切なかつ凄惨さを軽減するようなイラストレーションの特徴を科学的に分析しています。

講座テーマ紹介

- ビジュアルを活用した情報伝達及び情報受信
- ディープフェイクや、デマ等に惑わされないための情報リテラシー構築
- ビジュアル・リテラシーの構築

アピールポイントなど

現在、誰でもどこでもビジュアルによって情報を得られる日常となっています。それらの情報を疑い、またどのように自身でもイラストやビジュアルを活用し、情報をうまく発信できるのか、そのような点を探っていきたいと考えています。